

# Radiance of the Paralympic flame on London

## ロンドンの最も美しい町並みにきらめく パラリンピックの炎

2012年8月29日

---

パラリンピックのサポーターである、ハンス・ジョージ・ネーダー教授が2012年の聖火ランナーに

ロンドンの中でも最もひと目を引く町並みを、最終区間の聖火が通って行きます。アップーバンクストリートからウェストインディアキー近くのノースコロネードまでの区間を、5人のランナーが駆け抜けました。2012年ロンドン大会ばかりではなく、長年パラリンピックムーブメントのリーディングサポーターとして支えてきたオットーボックグループのオーナー兼CEO、ハンス・ジョージ・ネーダー教授が5人のランナーの1人として聖火をリレーしました

オットーボックヘルスケア社は、18カ国から参加した80名の義肢装具士、車いす技術者からなるチームを組織し、世界中から参加する4,200名の選手が使用する義肢、装具、車いすの修理サービスを提供しています。開会式のこの日だけで900件以上の修理依頼があったことが、この修理サービスが非常に重要であることを物語っています。

開会式を目前にしたこの日の重要な仕事は、オリンピックスタジアムを車いすで行進する旗手のために、国旗を支えるポールを車いすに取付けることでした。聖火台に聖火が点火される最後の瞬間まであと2時間に迫っています。2008年の北京大会でも聖火ランナーを務めたネーダー教授は元気良くスタート位置につき、「生涯に2度もこのような瞬間を迎えることができる今言えることは、ただ素晴らしい！ということです。弊社が国際パラリンピック委員会のパートナーとして行っているこのサービスを大変誇りに思っています。そして、今大会は史上最大の大会になるでしょう。」と語りました。



Quality for life

更なる情報は下記までご連絡お願い致します。

Karsten Ley  
Director Corporate Communication  
Otto Bock HealthCare GmbH, Max-Näder-Str. 15, 37115 Duderstadt  
Phone: (05527) 848-3036, Fax: (05527) 848-3360  
E-mail: karsten.ley(at)ottobock.de  
www.ottobock.com

または、

**オットーボック・ジャパン (株) 赤松、樋詰、佐竹**  
TEL:03-3798-2113 E-Mail: ottobock@ottobock.co.jp  
www.paralympics.ottobock.jp/